

2026 年人権文化セミナー連続講座・第 3 回

～東京・墨田区の皮革生産と油脂産業の街に学ぶ～

日本キリスト教協議会（NCC）部落差別問題委員会では 10 月 24 日（土）、東京・墨田区の被差別部落フィールドワークを行います。これは部落差別をなくすことを目的に企画しています。連続講座・第 3 回目は、と場から出る原皮が、皮革工場で皮革となることから具体的に考えます。皮革工場では皮（スキン）を鞣して革（レザー）を生産します。鞣しとは、皮のコラーゲン繊維を鞣し剤（鉱物や植物ポリフェノール）で架橋して、水を抜いて乾燥させると腐らない革になることです。その素材が被服や皮革製品となります。また、副産物の裏革はコラーゲン（膠、ゼラチン）製造の原料になります。そして、美容、健康、食文化、伝統工芸などに社会的・文化的役割を果たしています。この講座では、産業・教育資料室きねがわ（<http://kinegawa.com/index.html>）の見学を通して、皮革と私たちの暮らしと文化、そして、部落差別の解消を考えます。

日時 2026 年 10 月 24 日（土）12 時 30 分～16 時

場所 産業・教育資料室きねがわ

集合場所 12 時 30 分 / 京成線「八広」駅・2 階改札口

参加費 1,000 円（参加・資料代）

定員 20 人（申し込み・先着順）

申し込み NCC 部落差別問題委員会へ名前、所属、住所、電話、メールを明記してメールで nccbdic@gmail.com へお申し込みください。



内容

案内とお話：藤本忠義（部落解放同盟墨田支部書記長）

① 講演「木下川地区の産業と部落差別をなくす取り組み」

藤本忠義（部落解放同盟墨田支部書記長）

② ビデオ上映「木下川の皮革工場をみる一皮を革に変える―」 企画 木下川資料運営委員会

休憩

③ 皮革の街・フィールドワーク「皮革工場見学」

休憩

④ 資料室展示見学

⑤ 皮革工芸体験「カードケース作り」

⑥ 懇談「質疑応答、感想」

終了

主催 日本キリスト教協議会 部落差別問題委員会

新宿区西早稲田 2-3-18-24